

5. 就労

(1) 現在の収入を伴う仕事の有無 (Q15)

現在の収入を伴う仕事の有無をみると、各国とも「収入の伴う仕事はしていない」(日本 59.4%、アメリカ 74.5%、ドイツ 69.2%、スウェーデン 66.6%) の割合が6～7割台で最も高い。

次いで、日本では「パートタイム・臨時の被雇用者」が15.2%となっているが、欧米3か国では「フルタイムの被雇用者」(アメリカ 8.9%、ドイツ 14.1%、スウェーデン 12.6%) の割合が高くなっている。(図表 2-5-1-1)

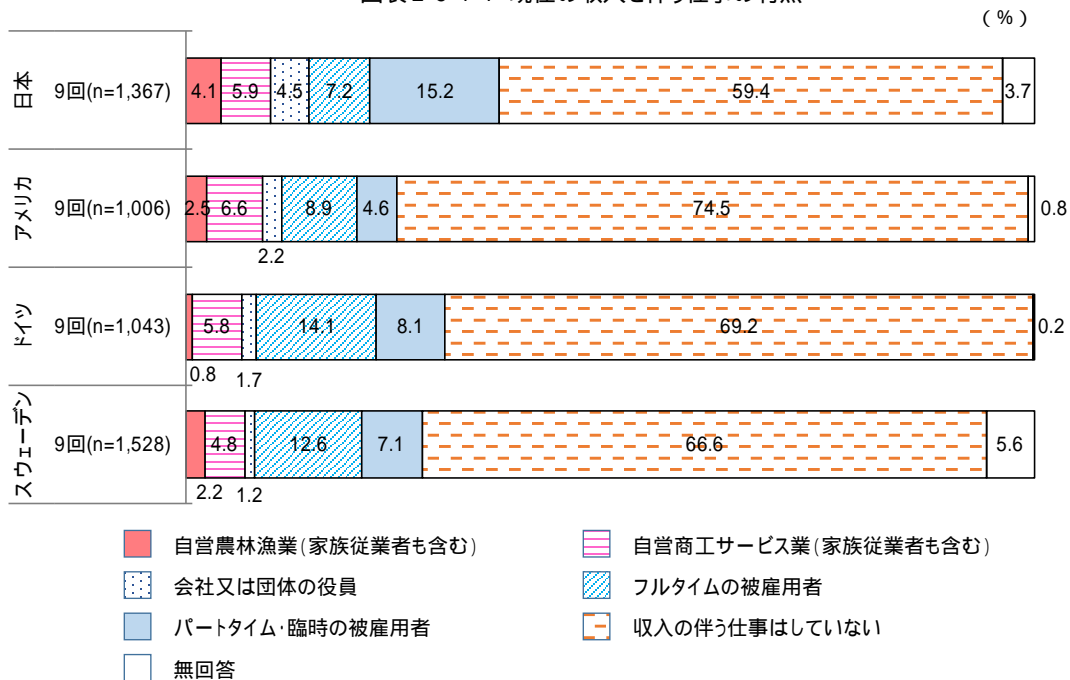
性別にみると、日本では「収入の伴う仕事はしていない」の割合は、男性 51.2%、女性 66.9%である。仕事の内容としては、男性は「パートタイム・臨時の被雇用者」14.3%、「フルタイムの被雇用者」11.7%である。女性は、「パートタイム・臨時の被雇用者」が16.1%となっている。

一方、アメリカとドイツでも、「収入の伴う仕事はしていない」の割合は、男性(アメリカ 68.2%、ドイツ 62.5%)より女性(アメリカ 79.0%、ドイツ 74.7%)の方が高くなっているが、スウェーデン(男性 64.1%、女性 69.2%)では男女差が小さい。仕事の内容としては、欧米3か国では、男女とも「フルタイムの被雇用者」の割合が、「パートタイム・臨時の被雇用者」の割合を上回るか、もしくは同率となっている。(図表 2-5-1-2)

年代別にみると、日本では、60～64歳では「収入の伴う仕事はしていない」の割合が27.2%で、7割近くは収入を伴う仕事をしており、「フルタイムの被雇用者」が27.7%、「パートタイム・臨時の被雇用者」が23.1%である。65歳以上になると、「収入の伴う仕事はしていない」の割合が最も高い。

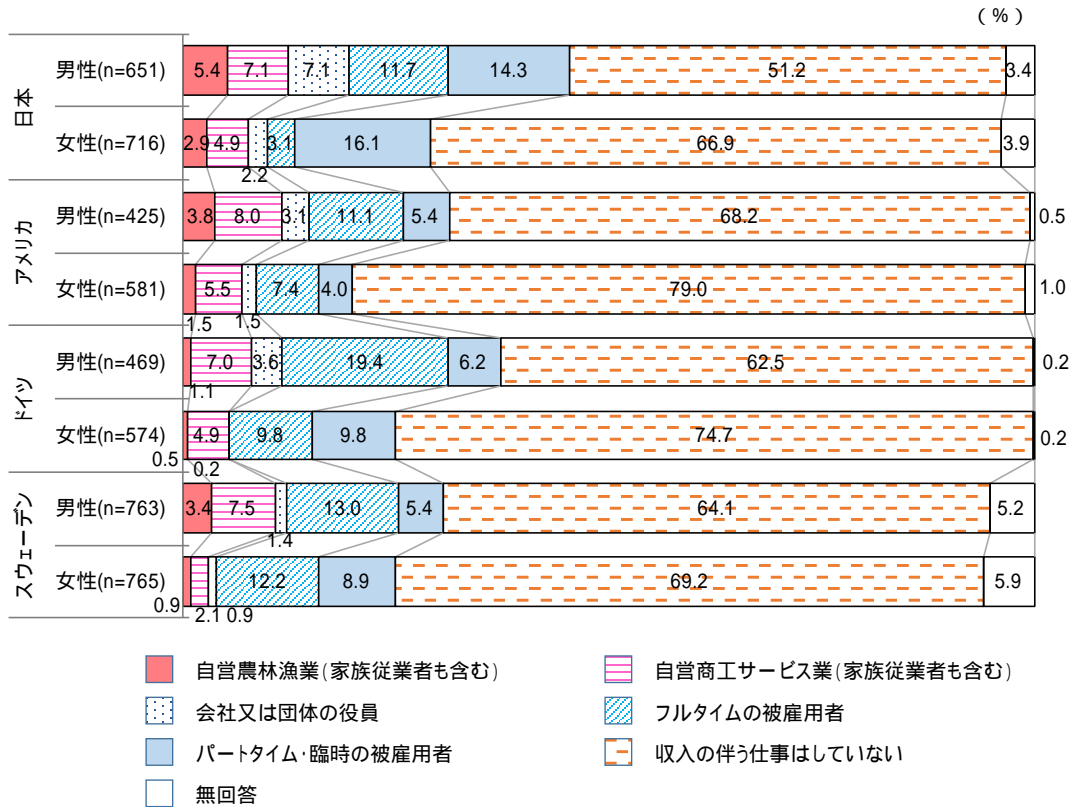
一方、欧米3か国でも、65歳以上になると、「収入の伴う仕事はしていない」の割合がほぼ7割から9割以上を占めている。(図表 2-5-1-3)

図表 2-5-1-1 現在の収入を伴う仕事の有無¹



¹ 第9回調査での新規設問。

図表 2-5-1-2 現在の収入を伴う仕事の有無(性別)



図表 2-5-1-3 現在の収入を伴う仕事の有無(年代別)

(%)

	n	自営農林漁業 (家族従業者も含む)	自営商工サービス業 (家族従業者も含む)	会社又は団体の役員	フルタイムの被雇用者	パートタイム・臨時の被雇用者	収入の伴う仕事はしていない	無回答	
日本	60～64歳	195	3.6	7.2	7.2	27.7	23.1	27.2	4.1
	65～69歳	302	3.6	7.6	6.6	9.3	23.8	46.0	3.0
	70～74歳	372	6.2	8.1	4.0	3.2	16.1	59.9	2.4
	75～79歳	231	3.5	3.5	2.6	0.9	11.3	73.6	4.8
	80歳以上	267	2.6	2.2	2.6	0.7	1.9	85.0	4.9
アメリカ	60～64歳	189	2.6	10.1	6.9	25.9	6.3	47.6	0.5
	65～69歳	229	2.6	8.3	2.2	10.5	7.4	68.1	0.9
	70～74歳	209	2.4	6.2	1.4	4.8	3.8	80.4	1.0
	75～79歳	174	4.6	5.2	0.6	2.3	3.4	83.9	-
	80歳以上	205	0.5	2.9	-	1.5	1.5	92.2	1.5
ドイツ	60～64歳	268	1.9	9.0	3.0	34.3	17.5	34.0	0.4
	65～69歳	209	0.5	5.3	1.4	6.7	9.1	77.0	-
	70～74歳	204	0.5	6.9	0.5	7.8	6.4	77.9	-
	75～79歳	194	0.5	3.1	3.1	6.7	1.5	85.1	-
	80歳以上	168	-	3.6	-	7.1	1.8	86.9	0.6
スウェーデン	60～64歳	302	2.6	7.3	3.6	49.0	14.9	20.2	2.3
	65～69歳	329	2.1	6.1	0.3	5.8	10.3	69.9	5.5
	70～74歳	355	1.7	5.1	0.8	3.1	5.4	80.3	3.7
	75～79歳	254	2.4	3.5	0.8	3.1	3.1	80.7	6.3
	80歳以上	288	2.1	1.4	0.3	2.1	1.0	82.3	10.8

(2) 一番長く経験した仕事の内容 (Q16)

これまでに一番長くした仕事を第8回調査と比較してみると、日本では、「会社又は団体の役員」(第8回8.3% 第9回19.4%)の割合が増加し、代わって「フルタイムの被雇用者」(第8回49.8% 第9回38.8%)の割合が減少している。

アメリカでは、大きな変化はみられない。

ドイツでは、「フルタイムの被雇用者」(第8回77.2% 第9回66.8%)の割合が減少する一方、「パートタイム・臨時の被雇用者」(第8回6.6% 第9回15.3%)の割合が増加している。

スウェーデンでは、「会社又は団体の役員」(第8回15.5% 第9回5.8%)の割合の減少がみられる。(図表2-5-2-1)

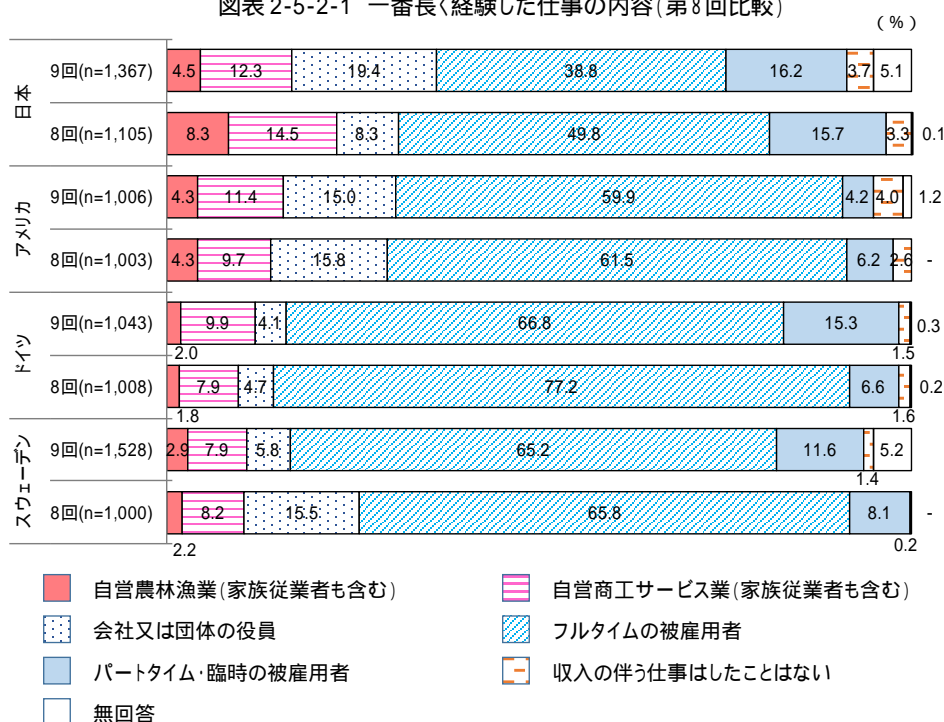
性別にみると、日本では、「フルタイムの被雇用者」(男性48.8%、女性29.7%)と「会社又は団体の役員」(男性28.4%、女性11.2%)の割合は女性より男性が、「パートタイム・臨時の被雇用者」(男性1.5%、女性29.5%)の割合は男性より女性が高い。

アメリカでは、「会社又は団体の役員」(男性21.6%、女性10.2%)の割合は女性より男性が高いが、「フルタイムの被雇用者」(男性56.9%、女性62.1%)の割合は男性より女性やや高くなっている。

ドイツも日本と同様の傾向である。

一方、スウェーデンでは、「フルタイムの被雇用者」(男性66.4%、女性63.9%)の割合に男女差はみられないが、「自営商工サービス業(家族従業者も含む)」(男性12.6%、女性3.3%)と「会社又は団体の役員」(男性9.4%、女性2.2%)の割合は女性より男性が、「パートタイム・臨時の被雇用者」(男性2.6%、女性20.7%)の割合は男性より女性が高い。(図表2-5-2-2)

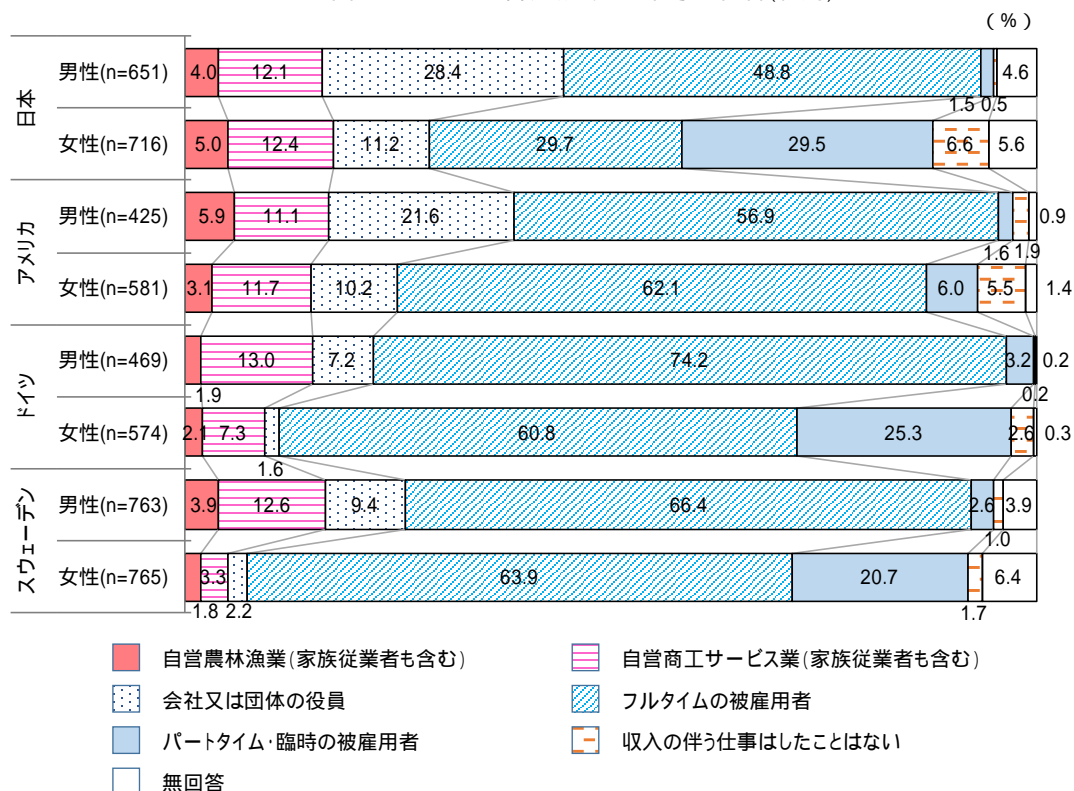
図表2-5-2-1 一番長く経験した仕事の内容(第8回比較)



注) 第8回では、以下の8つの選択肢で尋ねた。図表中「フルタイムの被雇用者」は4と5、「パートタイム・臨時の被雇用者」は6と7の合算。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 自営農林漁業(家族従業者も含む) | 5 常雇(フルタイム)の労務系勤め人 |
| 2 自営商工サービス業(家族従業者も含む) | 6 常雇(パートタイム) |
| 3 会社又は団体の役員 | 7 臨時・日雇・パート |
| 4 常雇(フルタイム)の事務系・技術系勤め人 | 8 収入の伴う仕事をしたことはない |

図表 2-5-2-2 一番長く経験した仕事の内容(性別)



年代別にみると、各国とも年代による大きな差はみられず、「フルタイムの被雇用者」の割合が、すべての年代で最も高い。(図表 2-5-2-3)

図表 2-5-2-3 一番長く経験した仕事の内容(年代別)

		n	自営農林漁業 (家族従業者 も含む)	自営商工サー ビス業(家族 従業者も含 む)	会社又は団体 の役員	フルタイムの 被雇用者	パートタイ ム・臨時の被 雇用者	収入の伴う仕 事をしたこと はない	無回答
日本	60～64歳	195	3.1	8.7	14.4	50.3	17.9	1.5	4.1
	65～69歳	302	2.6	10.6	20.2	45.0	16.2	2.0	3.3
	70～74歳	372	4.0	14.0	23.9	34.4	16.9	3.0	3.8
	75～79歳	231	5.2	14.7	17.3	38.1	14.3	3.0	7.4
	80歳以上	267	7.9	12.4	17.6	30.3	15.4	8.6	7.9
アメリカ	60～64歳	189	2.1	12.2	13.2	63.5	4.2	3.7	1.1
	65～69歳	229	3.5	10.5	15.3	61.6	5.2	2.2	1.7
	70～74歳	209	4.8	13.4	14.8	59.3	4.8	2.9	-
	75～79歳	174	6.3	13.2	16.1	56.3	2.9	5.2	-
	80歳以上	205	4.9	8.3	15.6	58.5	3.4	6.3	2.9
ドイツ	60～64歳	268	1.9	9.7	2.6	67.2	17.9	0.7	-
	65～69歳	209	1.0	8.1	2.9	73.7	14.4	-	-
	70～74歳	204	1.5	11.8	3.4	67.2	15.2	0.5	0.5
	75～79歳	194	2.6	9.3	6.7	66.0	12.4	2.1	1.0
	80歳以上	168	3.6	10.7	6.0	58.3	16.1	5.4	-
スウェー デン	60～64歳	302	1.7	7.9	5.3	72.5	9.6	1.3	1.7
	65～69歳	329	2.1	6.1	7.6	66.9	13.1	1.2	3.0
	70～74歳	355	2.0	9.9	5.4	68.5	8.7	1.1	4.5
	75～79歳	254	3.9	9.1	6.7	57.9	13.0	1.6	7.9
	80歳以上	288	5.2	6.6	4.2	58.0	14.6	1.7	9.7

(3) 実際の退職年齢 (Q17)

最終的に収入の伴う仕事を辞めた年齢を第8回調査と比較してみると、各国とも、回答の割合に大きな変化はみられない。

日本では、実際の退職年齢の平均は58.4歳で、第8回調査から1年早まっている²。(図表2-5-3-1)

性別にみると、日本では、男性は「60歳代前半(60~64歳)」が30.7%、「60歳代後半(65~69歳)」が20.4%である。一方、女性は「60歳代前半」(23.5%)に次いで、「50歳代」(18.3%)の割合が高い。「まだ仕事を辞めていない」(男性27.5%、女性20.8%)の割合は、男性が女性を上回っている。実際の退職年齢の平均は男性61.8歳、女性55.4歳と約7歳の差がある。

アメリカとドイツでは、男女とも「60歳代前半」の割合が最も高く、大きな男女差はみられない。

スウェーデンでは、「60歳代後半」(男性38.3%、女性38.7%)の割合が最も高い。(図表2-5-3-2)

年代別にみると、日本では、60~64歳は「まだ仕事を辞めていない」(52.2%)が、過半数を占めるが、この年代での平均退職年齢は約52歳と、他の年代に比べ早い。

欧米3か国のうち、スウェーデンでは、60~64歳の7割以上が「まだ仕事を辞めていない」(71.7%)と回答しており、65歳以上の平均退職年齢は64~65歳と、調査対象4か国のなかで最も高い。(図表2-5-3-3)

図表2-5-3-1 実際の退職年齢(就労経験者)(第8回比較)

		n	20歳代ないしそれ以前	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代前半 (60~64歳)	60歳代後半 (65~69歳)	70歳以降	まだ仕事を辞めていない	無回答	平均値 (歳)
日本	第9回	1,247	5.5	2.3	3.5	13.9	27.1	15.5	7.5	24.1	0.6	58.4
	第8回	1,067	4.2	2.0	2.8	14.5	22.4	16.8	8.9	28.2	0.2	59.4
アメリカ	第9回	954	1.2	0.8	3.0	18.6	28.2	19.5	8.2	18.1	2.4	61.1
	第8回	977	0.6	1.1	2.8	14.3	33.3	18.9	6.3	21.6	1.0	61.5
ドイツ	第9回	1,024	1.1	1.4	3.4	12.8	38.9	20.3	2.4	18.4	1.4	60.8
	第8回	990	2.8	2.4	3.4	20.6	40.8	15.2	1.3	12.6	0.8	58.7
スウェーデン	第9回	1,428	-	-	0.6	4.8	32.7	38.5	3.8	17.7	2.0	64.3
	第8回	998	0.1	0.2	0.5	8.2	32.6	40.3	1.7	16.4	-	63.7

² 平均値は、選択肢に以下の値を与えて算出した。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 20歳代ないしそれ以前:25歳 | 5. 60歳代前半(60~64歳):62歳 |
| 2. 30歳代:35歳 | 6. 60歳代後半(65~69歳):67歳 |
| 3. 40歳代:45歳 | 7. 70歳以降:72歳 |
| 4. 50歳代:55歳 | |

図表 2-5-3-2 実際の退職年齢(就労経験者)(性別)

			(%)										平均値 (歳)
		n	20歳代ない しそれ以前	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代前半 (60~64 歳)	60歳代後半 (65~69 歳)	70歳以降	まだ仕事を 辞めていな い	無回答		
日本	男性	618	2.3	0.8	1.1	9.4	30.7	20.4	7.3	27.5	0.5	61.8	
	女性	629	8.6	3.8	5.9	18.3	23.5	10.7	7.6	20.8	0.8	55.4	
アメリカ	男性	413	0.5	0.2	3.1	18.2	27.8	20.1	8.2	19.9	1.9	61.7	
	女性	541	1.7	1.3	3.0	18.9	28.5	19.0	8.1	16.8	2.8	60.7	
ドイツ	男性	467	0.9	0.4	2.6	9.2	39.4	22.3	2.8	20.6	1.9	61.8	
	女性	557	1.3	2.2	4.1	15.8	38.4	18.7	2.2	16.5	0.9	59.9	
スウェーデン	男性	725	-	-	0.4	3.9	33.1	38.3	5.1	17.2	1.9	64.6	
	女性	703	-	-	0.7	5.7	32.3	38.7	2.4	18.2	2.0	64.1	

図表 2-5-3-3 実際の退職年齢(就労経験者)(年代別)

			(%)										平均値 (歳)
		n	20歳代ない しそれ以前	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代前半 (60~64 歳)	60歳代後半 (65~69 歳)	70歳以降	まだ仕事を 辞めていな い	無回答		
日本	60~64歳	184	4.3	4.3	6.0	16.3	16.3	-	-	52.2	0.5	51.6	
	65~69歳	286	7.3	2.4	4.9	16.1	22.7	15.0	-	30.1	1.4	55.3	
	70~74歳	347	4.9	2.0	2.0	12.7	31.4	18.2	5.2	23.3	0.3	59.2	
	75~79歳	207	6.3	1.4	2.9	12.6	31.4	20.3	15.0	10.1	-	60.2	
	80歳以上	223	4.0	1.8	2.7	12.1	30.9	20.2	19.7	7.6	0.9	61.7	
アメリカ	60~64歳	180	1.7	1.7	7.8	20.6	17.2	0.6	-	45.6	5.0	54.3	
	65~69歳	220	0.5	0.5	3.2	18.6	34.1	20.0	-	20.0	3.2	60.5	
	70~74歳	203	1.0	0.5	2.0	14.3	34.0	26.6	8.9	11.8	1.0	62.4	
	75~79歳	165	-	0.6	2.4	18.8	26.1	26.1	14.5	10.3	1.2	63.0	
	80歳以上	186	2.7	1.1	-	21.0	27.4	23.7	19.4	3.2	1.6	62.4	
ドイツ	60~64歳	266	1.9	1.1	6.4	12.8	20.3	-	-	52.3	5.3	55.0	
	65~69歳	209	-	1.4	1.0	11.0	45.0	28.7	-	12.9	-	62.1	
	70~74歳	202	1.0	0.5	2.5	12.9	47.5	25.2	3.0	7.4	-	61.7	
	75~79歳	188	1.1	2.1	2.1	11.2	46.8	30.9	3.7	2.1	-	61.8	
	80歳以上	159	1.3	1.9	4.4	17.0	41.5	24.5	7.5	1.9	-	61.1	
スウェーデン	60~64歳	293	-	-	0.7	3.8	18.1	-	-	71.7	5.8	60.3	
	65~69歳	315	-	-	0.3	3.5	33.7	51.4	-	10.8	0.3	64.6	
	70~74歳	335	-	-	0.9	3.6	34.9	51.6	6.3	1.8	0.9	64.9	
	75~79歳	230	-	-	0.4	6.1	37.8	47.0	6.5	0.9	1.3	64.6	
	80歳以上	255	-	-	0.4	7.8	40.8	42.0	7.1	0.4	1.6	64.2	

(4) 今後の就労意欲 (Q18)

今後も収入の伴う仕事をしたい(続けたい)と思うかについて第8回調査と比較してみると、日本では、大きな変化はみられない。

アメリカにも、大きな変化はみられない。

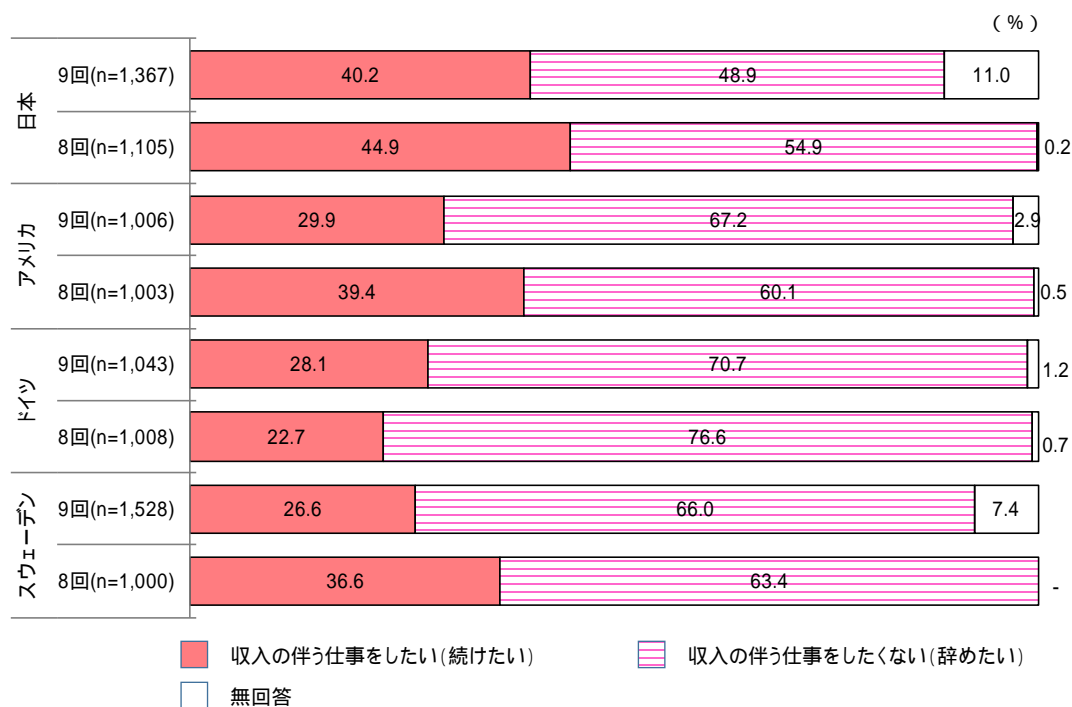
ドイツとスウェーデンでは、「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」の割合は、ドイツ(第8回22.7% 第9回28.1%)ではやや高くなっているが、スウェーデン(第8回36.6% 第9回26.6%)では低くなっている。(図表2-5-4-1)

性別にみると、日本では、今後も「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」(男性46.9%、女性34.1%)の割合は、女性より男性が高い。

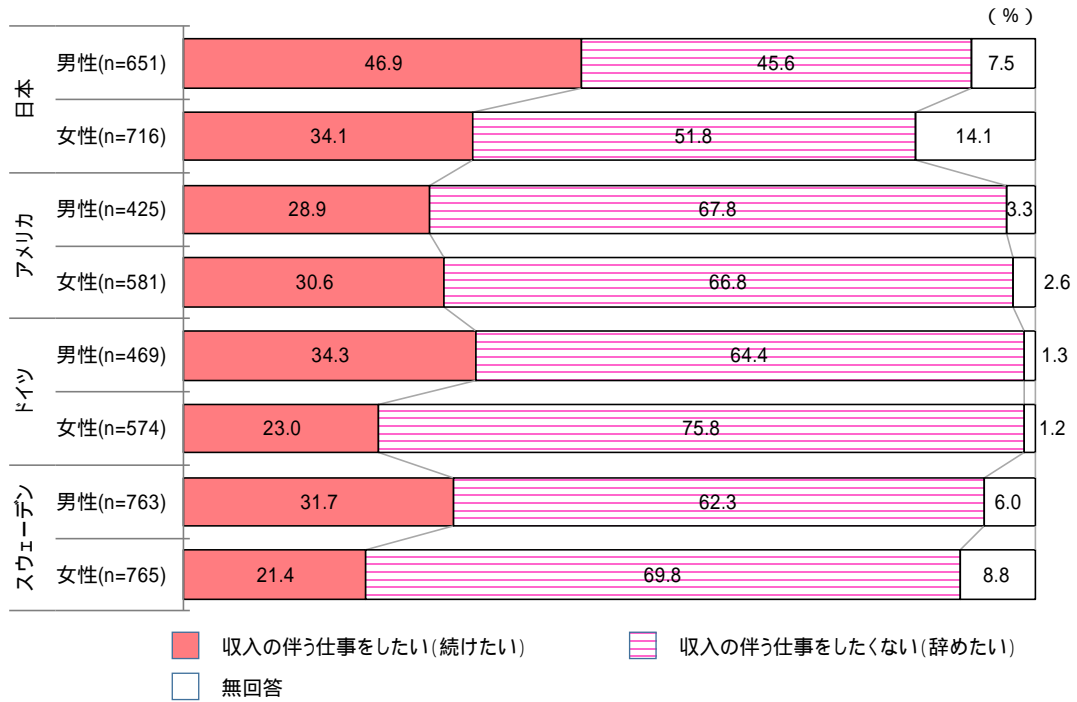
アメリカでは男女差はみられないが、ドイツとスウェーデンでは、「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」の割合は、日本と同様に、女性(ドイツ23.0%、スウェーデン21.4%)よりも男性(ドイツ34.3%、スウェーデン31.7%)が高い。(図表2-5-4-2)

年代別にみると、各国とも「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」の割合は、60~64歳の層で最も高く、年代が高くなるほど「収入の伴う仕事をしたくない(辞めたい)」の割合が高くなっている。(図表2-5-4-3)

図表2-5-4-1 今後の就労意欲(第8回比較)



図表 2-5-4-2 今後の就労意欲(性別)



図表 2-5-4-3 今後の就労意欲(年代別)

(%)

		n	収入の伴う仕事をしたい (続けたい)	収入の伴う仕事を したくない (辞めたい)	無回答
日本	60～64歳	195	73.3	22.6	4.1
	65～69歳	302	51.0	43.7	5.3
	70～74歳	372	42.5	49.5	8.1
	75～79歳	231	25.1	60.6	14.3
	80歳以上	267	13.5	62.9	23.6
アメリカ	60～64歳	189	59.3	38.6	2.1
	65～69歳	229	35.4	59.8	4.8
	70～74歳	209	23.9	73.2	2.9
	75～79歳	174	21.8	75.3	2.9
	80歳以上	205	9.8	88.8	1.5
ドイツ	60～64歳	268	62.3	36.2	1.5
	65～69歳	209	23.4	74.2	2.4
	70～74歳	204	21.6	78.4	-
	75～79歳	194	10.3	87.6	2.1
	80歳以上	168	7.7	92.3	-
スウェーデン	60～64歳	302	58.9	38.4	2.6
	65～69歳	329	31.9	61.7	6.4
	70～74歳	355	19.2	76.3	4.5
	75～79歳	254	12.2	78.3	9.4
	80歳以上	288	8.3	76.4	15.3

(5) 就労の継続を希望する理由 (Q19)

今後も収入の伴う仕事をしたい(続けたい)主な理由を第8回調査と比較してみると、日本では大きな変化はみられない。

アメリカでは、「収入がほしいから」(第8回 52.7% 第9回 32.2%)の割合が約20ポイント減少し、「働くのは体によいから、老化を防ぐから」(第8回 14.9% 第9回 24.6%)の割合が増加している。

ドイツでは、「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」(第8回 48.9% 第9回 43.3%)の割合が減少している。

スウェーデンでも、「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」(第8回 54.4% 第9回 38.2%)の割合が減少している。(図表 2-5-5-1)

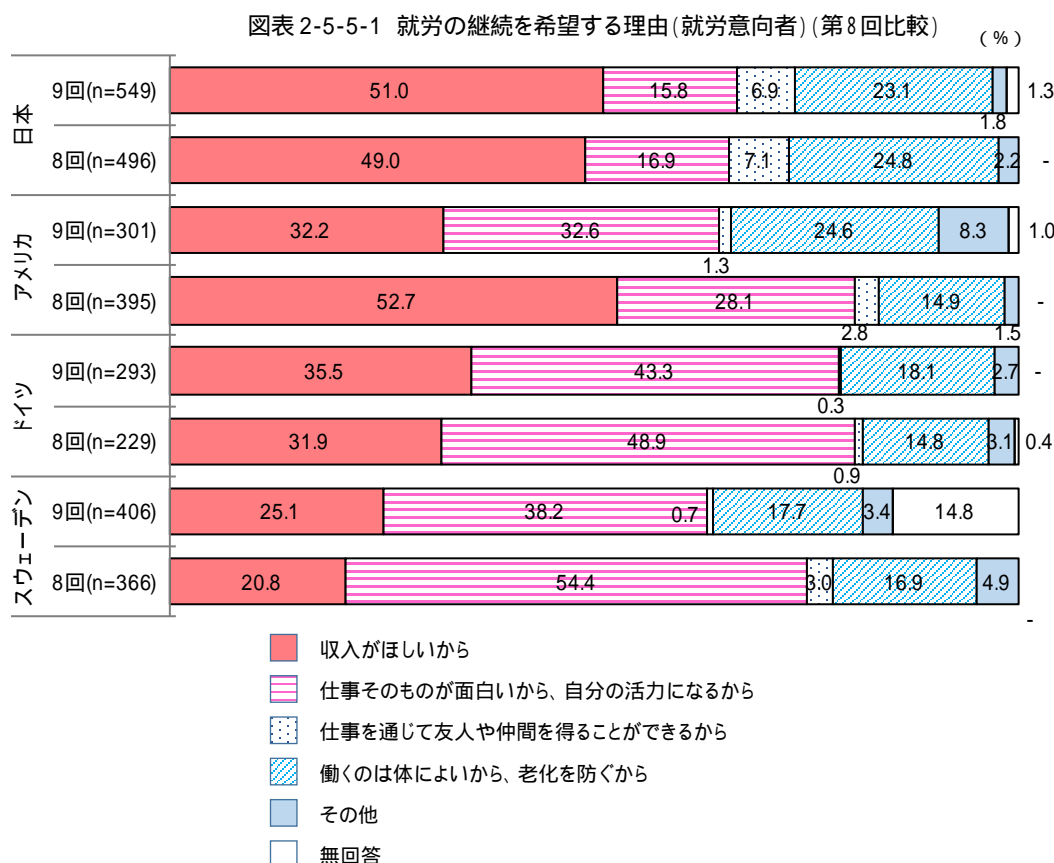
性別にみると、日本では「収入がほしいから」(男性 55.4%、女性 45.5%)の割合は女性より男性が高い。

アメリカでは、「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」(男性 36.6%、女性 29.8%)の割合は女性より男性が高い。

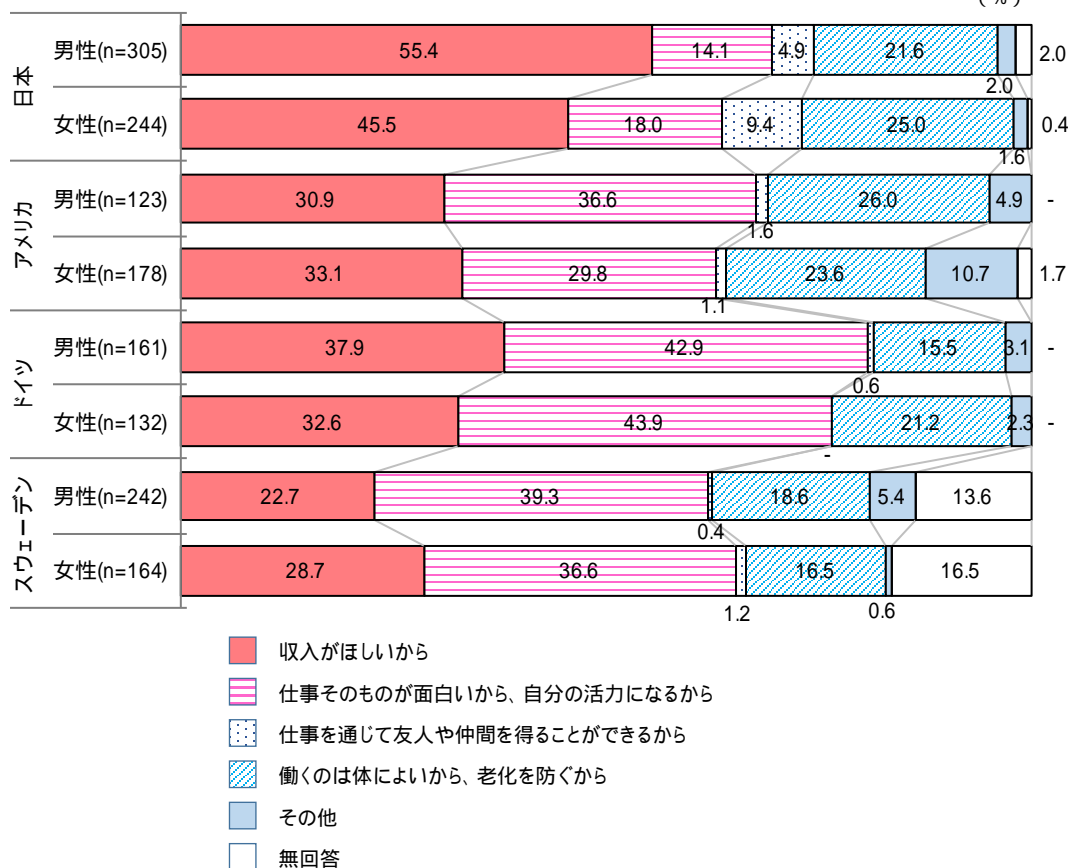
ドイツとスウェーデンでは、大きな男女差はみられない。(図表 2-5-5-2)

年代別にみると、日本では、年代の低い層に「収入がほしいから」の割合が高く、60~64歳では67.1%である。「働くのは体によいから、老化を防ぐから」は、70歳以上になると3割前後と60歳代よりも高い。

回答者数は少ないが、欧米3か国では、65歳以上になると「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」の割合が高い傾向がある。(図表 2-5-5-3)



図表 2-5-5-2 就労の継続を希望する理由(就労意向者)(性別) (%)



図表 2-5-5-3 就労の継続を希望する理由(就労意向者)(年代別) (%)

		n	収入がほしいから	仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから	仕事を通じて友人や仲間を得ることができるから	働くのは体によいから、老化を防ぐから	その他	無回答
日本	60～64歳	143	67.1	11.2	6.3	12.6	1.4	1.4
	65～69歳	154	54.5	17.5	3.9	21.4	0.6	1.9
	70～74歳	158	46.2	16.5	5.7	28.5	3.2	-
	75～79歳	58	36.2	10.3	15.5	34.5	1.7	1.7
	80歳以上	36	16.7	33.3	13.9	30.6	2.8	2.8
アメリカ	60～64歳	112	39.3	27.7	-	22.3	8.9	1.8
	65～69歳	81	28.4	42.0	-	22.2	7.4	-
	70～74歳	50	26.0	30.0	6.0	26.0	10.0	2.0
	75～79歳	38	28.9	31.6	-	28.9	10.5	-
	80歳以上	20	30.0	30.0	5.0	35.0	-	-
ドイツ	60～64歳	167	43.7	34.7	-	18.6	3.0	-
	65～69歳	49	22.4	61.2	2.0	12.2	2.0	-
	70～74歳	44	27.3	54.5	-	13.6	4.5	-
	75～79歳	20	25.0	40.0	-	35.0	-	-
	80歳以上	13	23.1	53.8	-	23.1	-	-
スウェーデン	60～64歳	178	36.5	33.7	0.6	11.8	3.9	13.5
	65～69歳	105	21.0	41.0	-	19.0	3.8	15.2
	70～74歳	68	10.3	42.6	1.5	27.9	1.5	16.2
	75～79歳	31	9.7	38.7	3.2	22.6	3.2	22.6
	80歳以上	24	20.8	45.8	-	20.8	4.2	8.3

(6) 就労したくない理由 (Q20)

今後収入の伴う仕事をしたくない(辞めたい)主な理由を第8回調査と比較してみると、日本では、「健康上の理由で働けないから」(第8回31.8% 第9回24.7%)の割合が減少している。

アメリカでは、「仕事以外にしたい事があるから」(第8回27.4% 第9回20.4%)の割合が減少している。

ドイツでは、大きな変化はみられない。

スウェーデンでも、「仕事以外にしたい事があるから」(第8回33.8% 第9回24.3%)の割合の減少がみられる³。(図表2-5-6-1)

性別にみると、日本では、大きな男女差はみられない。

アメリカでは、「ゆっくりとした生活がしたいから」(男性47.6%、女性37.4%)の割合は女性より男性が、「健康上の理由で働けないから」(男性13.2%、女性22.2%)の割合は男性より女性が高い。

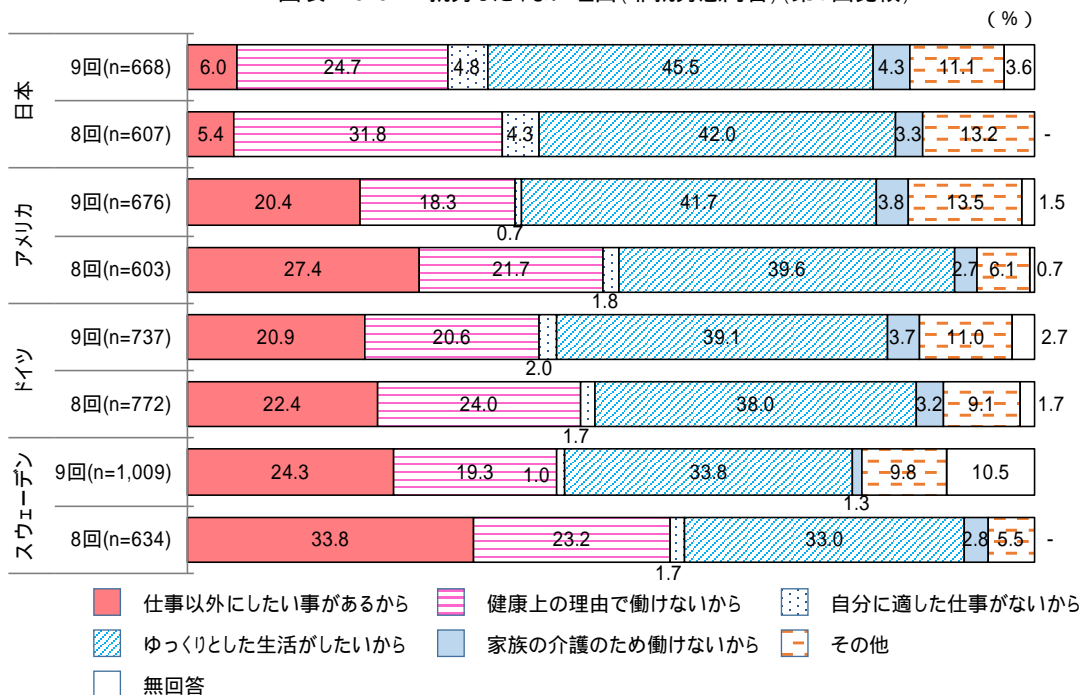
ドイツとスウェーデンでは、「仕事以外にしたい事があるから」の割合は、女性(ドイツ18.6%、スウェーデン21.9%)より男性(ドイツ24.2%、スウェーデン26.9%)がやや高い。(図表2-5-6-2)

年代別にみると、日本では、70歳代までは「ゆっくりとした生活がしたいから」の割合が、最も高い。80歳以上になると、「健康上の理由で働けないから」(35.7%)と「ゆっくりとした生活がしたいから」(34.5%)がほぼ同率の3割台で、上位にあげられている。

アメリカは、すべての年代で、「ゆっくりとした生活がしたいから」の割合が最も高い。

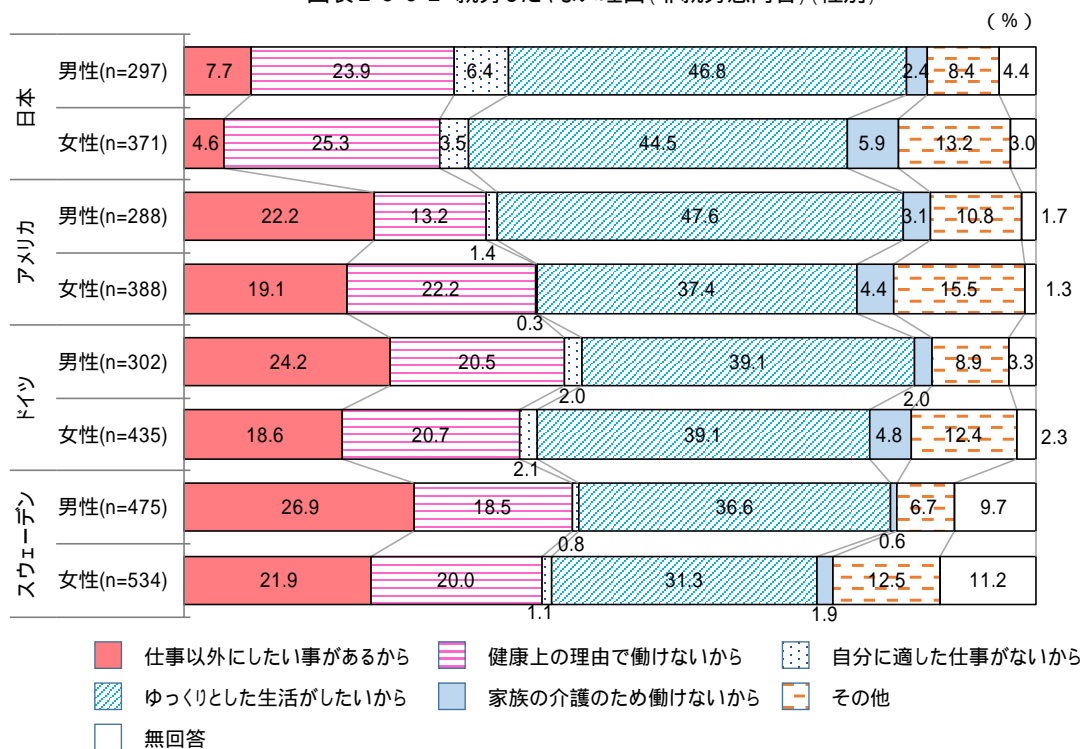
ドイツでは65歳以上で、スウェーデン70歳代までの年代で、「ゆっくりとした生活がしたいから」の割合が最も高くなっている。ドイツの60~64歳とスウェーデンの80歳以上では、「健康上の理由で働けないから」(ドイツ42.3%、スウェーデン26.4%)の割合が最も高い。(図表2-5-6-3)

図表2-5-6-1 就労したくない理由(非就労意向者)(第8回比較)



³ スウェーデンは、第9回で「無回答」が大幅に増加している。

図表 2-5-6-2 就労したくない理由(非就労意向者)(性別)



図表 2-5-6-3 就労したくない理由(非就労意向者)(年代別)

(%)

		n	仕事以外にしたい事があるから	健康上の理由で働けないから	自分に適した仕事がないから	ゆっくりとした生活がしたいから	家族の介護のため働けないから	その他	無回答
日本	60～64歳	44	6.8	18.2	4.5	45.5	11.4	4.5	9.1
	65～69歳	132	9.1	16.7	9.1	52.3	5.3	5.3	2.3
	70～74歳	184	9.2	23.4	6.0	47.3	3.8	7.6	2.7
	75～79歳	140	3.6	22.9	3.6	50.0	3.6	12.1	4.3
	80歳以上	168	1.8	35.7	1.2	34.5	3.0	20.2	3.6
アメリカ	60～64歳	73	19.2	26.0	1.4	32.9	6.8	8.2	5.5
	65～69歳	137	27.0	15.3	0.7	40.9	5.8	8.8	1.5
	70～74歳	153	19.6	16.3	1.3	48.4	4.6	9.8	-
	75～79歳	131	25.2	16.0	0.8	36.6	3.1	15.3	3.1
	80歳以上	182	13.2	20.9	-	44.0	1.1	20.9	-
ドイツ	60～64歳	97	21.6	42.3	3.1	20.6	6.2	5.2	1.0
	65～69歳	155	27.7	14.2	2.6	43.9	3.9	5.8	1.9
	70～74歳	160	26.3	18.1	1.9	37.5	3.1	12.5	0.6
	75～79歳	170	22.4	17.1	1.8	41.8	4.1	10.6	2.4
	80歳以上	155	6.5	20.0	1.3	44.5	1.9	18.7	7.1
スウェーデン	60～64歳	116	26.7	25.0	1.7	31.9	1.7	3.4	9.5
	65～69歳	203	25.6	13.3	0.5	41.4	2.0	7.4	9.9
	70～74歳	271	28.8	14.4	1.1	41.7	0.7	5.5	7.7
	75～79歳	199	24.1	21.1	1.0	30.7	1.0	8.5	13.6
	80歳以上	220	16.4	26.4	0.9	20.9	1.4	21.8	12.3